



生涯学習講座

★市内にお住まい又はお勤めの方が対象です。

★申込及び問合せは、生涯学習課へお願いします。

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定が変更となる場合があります。

★マスクの着用にご協力をお願いします。

生涯学習課(南館1階)
☎052-400-2911

天文開放

とき 7月10日(金)

午後7時～8時30分

ところ にしび創造センター
4階天体ドーム

テーマ 「七夕の星」

講師 川村吉弘氏

※雨天の場合は中止です。くもりの場合は、その時の天候により判断しますので、生涯学習課に午後4時以降にお問い合わせください。

※申込は不要です。小さなお子さんや家族での参加もできます。

※中学生以下は保護者の送迎が必要です。

二次募集講座

★申込は生涯学習課へお願い

します。定員になり次第受付を終了します。

★詳細は生涯学習講座のご案内内前期又は市ホームページをご覧ください。



スペイン語入門

とき 8月1日(土)、8日(土)、22日(土)、29日(土)、9月5日(土)の全5回

午前10時～11時30分

ところ 清洲市民センター
3階視聴覚室

内容 清須市とスペインのヘリス市は姉妹都市提携を結んでいます。スペインについて、もっと知っていただくことを目的として講座を開催します。

本講座では、スペイン語の基本とスペインに旅行したときに役に立つ表現を学ぶとともに、スペインの社会や文化についてもご案内します。

講師 市国際交流員

定員 若十名

受講料 1500円

持ち物 筆記用具

講師 市国際交流員

エリザベス・ヘア・サストレ氏

定員 若十名

文芸講座『万葉集』の魅力

とき 9月2日(水)、3日(木)、4日(金)の全3回

午前10時30分～正午

ところ 清洲市民センター
3階視聴覚室

内容 六世紀の後半、律令国家の成立により、官人にも庶民にも「旅」という状況が爆発的に起こってきます。その中で旅の歌は誕生しました。今年の講座では、万葉集の旅の歌を取り上げ、その誕生と展開の様相を追います。

講師 専修大学文学部教授 大浦誠士氏

定員 若十名

受講料 900円

持ち物 筆記用具



市立図書館 歴史資料展示室

企画展「地図や写真で見る清須の昔～残された記録から～」開催期間延長のお知らせ

令和になった現在は、明治・大正のころに比べて、生活様式が大きく変わるとともに、失われていくものや行事が増えてきました。役場などの公共施設も地図で見ると場所や建物が今と違ってしています。それらの一端を、市内在住の方から寄贈された写真や資料などで紹介します。

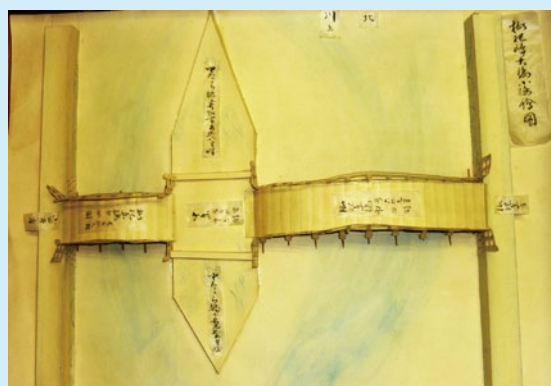
※新型コロナウイルス感染症の影響により、長らく、市立図書館を閉館していたため、開催期間を延長します。

とき 10月25日(日)まで

ところ 市立図書館1階 歴史資料展示室

開館時間及び開館日 図書館に準じます。

観覧料 無料



枇杷島橋模型

■問合せ 生涯学習課(南館1階)



高齢者のための教室・講座

★申込が必要です。申込は各センターへお願いします。

★60歳以上の方が対象です。

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定が変更となる場合があります。

★マスクの着用にご協力をお願いします。

西枇杷島福祉センター
052-502-7530

映画を楽しもう

題名 「幸福の黄色いハンカチ」

主演 高倉健・倍賞千恵子

とき 7月21日(火)

午前9時30分～11時20分

定員 25名

申込 7月6日(月)

参加費 無料

西枇杷島生きがいセンター
(にしび創造センター2階)
052-504-6361

おしゃべり横丁(映画鑑賞)

題名 「人間の証明」

出演 岡田茉莉子

松田優作

とき 7月10日(金)

午前9時30分～11時45分

にしび創造センター



わくわく教室

題名 「防災用生地でアームカバー」を作ります。

とき 7月10日(金)

午前9時30分～

にしび創造センター

2階集会室

定員 20名

持ち物 針・糸はさみ

材料費 500円

申込 7月6日(月)

午前9時から

「やろまいか教室」開催のお知らせ

ストレッチなど、体を動かすことを中心とした教室です。参加費無料、申込不要で、スポーツクラブインストラクターが講師を務めます。

最近、運動していないなと思っている方は、ぜひご参加ください。

詳しい情報は、広報清須今月号の17ページでご確認ください。

■問合せ 高齢福祉課(北館1階)



エリの Café España ～スペインカフェ～

ヘレス市のシェリー酢



¡Buenas ¿Cómo estás? こんにちは!元気ですか?今回のカフェは「vinagre de Jerez」、つまりシェリー酢について書きたいと思います。

日本と違って、スペインの家庭では、「酢」はワインから造られたビネガー(酢)を主に使います。ワインビネガーとは、ブドウ果汁から造られた食酢のことです。アルコール発酵させた後、酢酸菌で発酵させると、酢に変わります。「vinagre de Jerez」はその一種です。

実は、だれでもワインビネガーを造ることができます。ワインの瓶のふたを1カ月ぐらいあけたままにすると、ワインがだんだん酸っぱくなります。ワインを大切に保管しないと、酸っぱくなってビネガーになるので、シェリー酒を造る酒蔵は、ワインがビネガーになった時は酒蔵の失敗とされていました。その失敗から生まれたシェリー酢は、1945年に初めて発売されました。フランスをはじめ、さまざまな国でとても好評で、1994年に「Denominación de Origen de Jerez」(ヘレス原産地名称でシェリー酢の意味)と認定されました。

「vinagre de Jerez」はシェリー酒から造らなければいけません。ワインから酢を造り、その後は樽で最低6カ月熟成させます。ほかのワインビネガーと違って、見た目は油状、赤茶色で、優しい味がします。

私にとって、ワインビネガーは酸っぱさが強くあまり使いませんが、「vinagre de Jerez」の味は優しく、スペインに住んでいた時にオリーブオイルと一緒にサラダのドレッシングとしてよく使いました。

皆さんは、「vinagre de Jerez」を味わったことがありますか?



油状で色が濃いシェリー酢